

平和への願いを込めて

市は、平成17年に「非核・平和都市宣言」を行い、核兵器の廃絶と世界の恒久平和を訴えています。

世界で最初の宣言は、一九八〇年(昭和55年)にイギリスのマンチェスター市で行われました。その後、この宣言運動は世界中に広がり、日本でも約9割の自治体がこの非核宣言を行っています。

広島、長崎に原爆が投下され、今年8月で71年が経過します。被爆者や戦争体験者の高齢化により、原爆と戦争の記憶は次第に風化し、忘れ去られようとしています。

市では、この宣言を通じて、次代を担う子どもたちへ平和の尊さを提唱していきたいと考えます。

宣言文をご一読いただき、地域や家庭などで核兵器のない世界の平和について話し合い、考えてみてください。

問 市 総務課(米原庁舎)

☎ 5211552

FAX 5214447

非核・平和都市宣言

私たちのまち まいばら には
青い空と緑にはえる山々
清流のせせらぎ
みのり豊かな田園
母なるめぐみの湖(うみ)がある

まちかどや広場には
子どもたちの歓声が
若者たちの歌声が
軒先からは人々の
静かな語らいがきこえてくる

遠く海をこえた かなたにも
同じ人々のくらしと
しあわせがある

しかし 今
地球をおおう核の脅威は
あらゆる命のいとなみを破壊し
かけがえのない平和を
一瞬にして 奪いさろうとしている

私たちは 知っている
核兵器が
生きとし生けるもの
すべてを破滅しつくして
何も もたらさないことを

私たちは 知っている
すべての人間が手をつなぎ
平和な明日に向かって
力をよせあうことが
どんなに大切で
すばらしいかを

悲惨なヒロシマ ナガサキの体験から
核兵器を
「持たず 作らず 持ち込ませず」の
非核三原則を全世界に訴え
戦争の放棄 恒久の平和を誓った
平和憲法を
私たちは 守ります

人々の明日にとって
子どもたちの笑顔が
若者たちの明るい未来が
いきいきとした命のいとなみが
永遠に続くことを願っている

私たちは 訴えます
核を持つすべての国々に
すべての核兵器を 今 すてよ！と

この市民の声と 願いを
世界に広く訴えるため
ここに米原市は
「非核・平和都市」を宣言する

平成17年6月24日
米原市



市政言



4年に1度のスポーツの祭典であるオリンピックが、いよいよ開幕します。今大会には、米原市出身の西村綾加さんと清水美並さんが女子ホッケー日本代表チームの選手として出場されることになり、大変うれしく、そして誇らしく思います。お二人のご活躍を心からお祈りいたします。

7月9日に開催した壮行会には、多くの市民のみなさんが駆けつけてくださいました。その中には、日頃、ホッケー競技などに取り組んでいる児童や生徒のみなさんの姿が多くみられました。

お二人は「学んだことの基本は米原にあります」「支えてくれた地域の人たちに恩返しをしたい」と会場で応援の方々に語られました。もちろん自らの努力があつてのことですが、自らの育ち、学びの大地への謙虚なこの姿勢が世界の舞台に立つオリンピックに成長させたのだと私は思います。

私たちの希望である次の時代を担う子どもたちが、先輩やお二人を応援するために集まった人たちの姿を見てどう感じたか。大変貴重な経験となったことは間違いありません。若者の夢や希望を応援し、人を支え、育てる米原市民の温かさをあらためて感じたいときでした。



米原市長 平尾道雄